

### ーポイント3ー

- 【補充】 他の教育活動では扱いにくい道徳的価値を補う
- 【深化】 他の教育活動では考えにくい道徳的価値を深める
- 【統合】 多様な体験により得た道徳的価値の関連やつながりをまとめる

道徳の時間は、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割があることは、既に述べましたが、その「要」の役割を授業の具体で言うと、この「補充」「深化」「統合」の役割になります。小学校学習指導要領解説（P 29～P 30）には次のように記されています。

#### 補充

学校の諸活動の中で多様な道徳的価値について感じたり考えたりするが、その全てについて考える機会があるとは限らない。  
道徳の時間は、このように学校の諸活動で考える機会を得られにくい道徳的価値などについて補充する役割がある

#### 深化

体験の中では道徳的価値の意味などについて必ずしもじっくりと考え、深めることができているとは限らない。  
道徳の時間は、このように道徳的価値の意味やそれと自己とのかかわりについて一層考えを深化させる役割を担っている。

#### 統合

多様な道徳的体験をしていたとしても、それぞれがもつ道徳的価値相互の関連や、自己とのかかわりにおいての全体的なつながりなどについて考えないままに過ごしてしまうことがある。  
道徳の時間は、それらを統合し、児童に新たな感じ方や考え方を生み出すというような役割もある。

各教育活動において行われる道徳教育を、道徳の時間で調和的に補充、深化、統合するためには、道徳の時間以外でどのような道徳教育を行うのか、その内容及び時期を明確にしておくことが必要です。そのためには、全体計画の別葉（「第1章」の3(2)、「第4章」のQ 1 2を参照）を活用し、各教科等で、いつ、どのような内容の道徳教育を行うのか把握し、指導の機会が少なければ補充を、より一層深く考えさせる必要があれば深化を、全体的なつながりを考えさせるのであれば統合を、意図的に行いましょう。